

【機密性○（取扱制限）】

入札説明会 質疑応答

Q：仕様書3.（4）等でシステムの構築について提案が必要か。

A：既存のWEBサイトを活用することから、今回の事業ではシステムの構築は行いません。アクセシビリティ対応含め、より国民向けの情報発信として効果的なサイトとするため、文化庁と協議の上、デザイン等の修正については対応をお願いします。

Q：仕様書3.（3）③について、SNS運用についての相談支援のイメージは。

A：SNSの相談対応については、伴走支援までは想定していません。仕様書別紙2の【2】に参加する博物館の広報担当者の相談窓口として、SNS運用に関する質問対応や情報提供をお願いします。

Q：仕様書3-2の事業は、どの程度の粒度で提案をすればよいのか？

A：当事業の趣旨は、博物館の価値発信及び博物館と企業連携の実施における中間支援機能の実装をいかに進めていくかを実証いただくものです。よって、受託者が、実証事業の中でどのようにしてコーディネートを行っていくのかを具体的にご提案いただければと思います。事業報告書を参考にしながら、現時点で想定される企業と博物館の連携事業を設定の上（たとえば、特定の業種の企業と特定の館種の博物館との連携等）、提案内容をご検討ください。提案にあたっては、なるべく実現可能性が高いと思われるような連携事業を想定いただく方が望ましいですが、具体的な企業名を記載することは必須ではありません。

Q：仕様書3-2について。企業連携シナリオ3例以上それぞれについてのコーディネート案を提案するのか。それとも、企業連携シナリオとして「1例」のみのコーディネート案を提案するのか。

A：実証事業の中で「具体的な事業の実装もしくは実装団体までの実証」を実現するために、各連携シナリオにおいて受託者がコーディネーターとして対応すべき課題が異なることが想定される場合は、コーディネートの手法や手順等も異なるかと思えます。この場合、それぞれのシナリオに対するコーディネート案をご提案いただくことが想定されます。一方で、各連携シナリオに共通するコーディネート手法や手順等により3件以上の連携シナリオを実施するというご提案も可能です。

Q：技術提案書について。「様式1を除く合計10ページ」の内容を確認したい。

A：様式1（技術提案申請書）を除く、技術提案書類一式（様式2～5を含む）の合計が10ページ以内となるように作成ください。